

基本方針

墨田区文化振興財団は、平成8年の設立以来、新日本フィルハーモニー交響楽団(以下「新日本フィル」という。)と連携しながら、すみだトリフォニーホールでの音楽事業や区内各所におけるアウトリーチ活動を展開しているほか、平成28年には、すみだ北斎美術館の指定管理を受託し、すみだの世界に誇る「北斎」を紹介する展覧会を中心に事業を推進している。

令和3年度には、これら墨田区の重要な文化芸術活動の拠点施設が、ともに次期指定管理の初年度を迎えることから、これまで実施してきた各種事業及び施設の管理運営における成果と反省点を踏まえ、今期の目標に向かって取り組んでいく必要がある。

一方、令和元年度末から新型コロナウイルス感染拡大の影響による施設利用制限が続いているが、今後も感染防止対策に取り組み、すべての利用者に安心・安全な施設運営を目指し運営していく。

さらに、すみだ北斎美術館では新型コロナウイルス感染拡大により延期となった名品展「THE 北斎 富嶽三十六景と幻の絵巻」を開催するなど、すみだの文化の魅力を国内外に発信することによって地域の活性化を図っていく。

以上の点を踏まえ、令和3年度の当財団の運営及び事業については、次の各項目を基本に実施する。

- すみだトリフォニーホールでは、新日本フィルとの協働による多彩な公演やアウトリーチ事業を展開し、幅広い世代がクラシックを中心とした多彩なジャンルの音楽に触れる機会を創出するとともに、すべての区民が音楽を身近に感じられる取組みを推進する。
また、これまで3期の指定期間に構築した実績を活かし、新たに教育・福祉・子育て支援などの分野も視野に入れた音楽事業推進補助事業をスタートさせるとともに、事業内容やホール運営について区民の意見や評価を得る区民モニター制度を導入し、その結果を事業等に反映させていく。
- すみだ北斎美術館では、企画展を4回開催する中で、北斎の代表作や逸品を披露するほか、現代作家とのコラボレーション企画、開館以来2度目となるピーター・モース展にも取り組み、話題性と魅力に富んだ展覧会を開催する。さらに、昨年度の実績を踏まえて「常設展プラス」を開催し、オリジナル作品を鑑賞できる環境を整えていく。また、観覧料収入以外の収入増に向けて各種方策を実施していく。
- 両施設で行う事業のほか、区内各所で多彩なアウトリーチ活動や教育普及活動を実施し、学校や文化団体等と連携しながら、地域における文化芸術活動の活性化を図る。
- 区民による文化芸術活動を支援し、助成事業や情報収集・提供事業を推進するとともに、地域で起きている様々な文化的事象を把握し、文化芸術振興に関する相談に応じて必要な情報を提供し、場と人材をつなぐ中間支援組織としての役割を強化していく。
- 公益財団法人として、安定した財政運営のもとで、更なるガバナンスの強化とコンプライアンスの推進に努めるほか、区及び区民の文化芸術振興を担う団体として専門性の向上を図るため、組織力及び職員の能力の向上に努めていく。

事業体系

I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

- 1 音楽等の鑑賞機会の提供
- 2 区民の音楽活動の育成
- 3 区民の音楽活動への参加の促進
- 4 区民モニター制度の導入
- 5 多彩なコミュニケーションツールの活用や地域社会との連携などによる戦略的広報活動
- 6 施設の利用及び維持管理等に関する業務

II すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

- 1 資料収集・保管事業
- 2 調査研究事業
- 3 展示事業
- 4 教育普及事業
- 5 図書室運営事業
- 6 施設の利用及び維持管理に関する業務

III 墨田区域における文化芸術活動の支援事業

- 1 すみだ文化芸術活動助成事業
- 2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営
- 3 文化政策及び文化事業に関する調査
- 4 アートプロジェクト等の推進事業
- 5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

当ホールは、フランチャイズ・オーケストラとの協働により、多彩な公演の実施やアウトリーチ事業を展開し、幅広い世代が芸術に触れる機会を創出するとともに、すべての区民が芸術文化を享受できる地域社会の実現を目指している。

令和3年度は、第4期指定管理期間のスタートの年であり、これまで3期にわたり構築してきた指定管理者としての実績を活かし各種事業及び施設の管理運営を行っていく。特に令和3年度から新たにスタートする音楽事業推進補助事業では、あらゆる区民がホールを身近に感じ足を運んでくれるよう、また音楽事業が教育・福祉・子育て支援など、さまざまな行政分野における課題の解決に寄与していくように取り組んでいく。大ホールのシンボルでもあるパイプオルガンを活用した多彩な事業の展開も推し進めていく。

今期指定管理期間中の令和4年度に、トリフォニーホールは開館 25 周年、新日本フィルは創立 50 周年を迎えることから、区、ホール、新日本フィルが一体となって周年事業に取り組むことで、すみだの魅力を広く国内外に発信し地域の活性化を図る。

一方でトリフォニーホールは文化庁の「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」に採択された全国の 16 館のひとつとして、平成 30 年度から5年間にわたり支援を受けており、その4年目となる令和3年度を実質的な最終評価年ととらえ、戦略的な事業展開及び広報活動を推進していく。また、事業内容やホールの運営について、区民による客観的な意見や評価を得るため、新たに区民モニター制度を導入する。

なお、令和元年度末から新型コロナウイルス感染拡大の影響による施設利用制限が続いているが、今後も継続して感染防止対策に取り組み、すべての利用者に安心・安全なホールを目指し運営していく。

以上の点を踏まえ、令和3年度のすみだトリフォニーホールの事業については、次の方針に基づいて実施する。

【音楽事業】

(1) 鑑賞事業

新日本フィルを活用した幅広いジャンルの公演を企画し、あらゆる層に向けて事業を実施する。人気の高いシリーズ企画の継続と、区民がホールやオーケストラを身近に感じられる新たな企画、ホールブランドを高める公演など魅力的なラインナップを実現する。

(2) 育成事業

新日本フィルによる 30 年にわたる区立小・中学校や区内福祉施設等でのアウトリーチ活動を継続実施するとともに、新たな展開として全中学校吹奏楽部への指導を開始する。また時代を担う音楽家や芸術愛好家を育成するため、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラを引き続き運営する。

(3) 参加型事業

すみだ中学校吹奏楽祭やすみだ音楽祭など、区民に音楽等の芸術鑑賞の機会と自主的な芸術文化活動の場を提供するとともに、参加者相互の交流を促進することにより、音楽を通じた地域コミュニティの醸成を図る。また、大ホールのシンボルでもあるパイプオルガンが子供たちや区民に身近な存在となるようオルガン教室・体験会を実施し、その成果を披露する発表会を開催する。新たに区民モニター制度を取り入れ、事業に関する調査を実施する。

【広報事業】

(1) 情報発信

ホールに興味を持ち来館の動機につなげるため、公式ホームページ、Facebook、Twitter、YouTube等を活用し、積極的に情報を発信する。

(2) 戦略広報

あらゆる区民がホールに親しみを感じ、気軽に来館できるようなさまざまな仕掛けを発信していく。地域と連動した企画やプロモーション展開など、地域社会とのネットワークを構築する。

【感染症対策】

施設利用においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため行政機関などによる指示、各種ガイドラインを遵守した感染症対策を講じ、利用者やホールスタッフの安全維持に努める。

【施設管理】

質の高い安全・快適な施設運営を維持するため、委託業者との連携のもとで建物及び各種設備についての定期点検や日常点検を適切に行い計画修繕を実施するなど、施設の良い維持管理に努める。さらに、省資源・省エネルギー・廃棄物の減量化による施設管理コストの節減と、施設の安全管理の徹底、災害時や緊急時における必要な対策を講じていく。

1 音楽等の鑑賞機会の提供

すみだトリフォニーホールの大ホールを主な会場として、フランチャイズ・オーケストラである新日本フィルを活用した企画を中心に、区民をはじめとする誰もが楽しめる公演や、世界の第一級音楽家による芸術性の高いホールブランドを高める公演、大ホールのシンボルであり区民の財産であるパイプオルガンを活用した公演などを実施する。

また、新日本フィルや様々な音楽事務所との共同主催・共催により、多彩な公演を実施する。

令和3年度からは新たに墨田区から音楽事業推進補助を受け、区民のニーズに応える6事業を実施する。

■フランチャイズ・オーケストラ活用主催公演（5事業5公演）

NO	名称/時期/対象/企画趣旨	内容	
1	【名称】新日本フィル・スペシャル・ライブ feat. 上原ひろみ 【時期】2021年5月4日（火・祝） 【対象】ピアノ&オケ・ファン、NJP会員等 【企画趣旨】ホールブランドを高める公演。グラミー賞受賞など、世界を舞台に活躍するジャズピアニスト上原ひろみと新日本フィルとの共演。自由で情熱にあふれる演奏は、音楽の喜びを聴衆に届ける。	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	沼尻竜典
		出演者	上原ひろみ [ピアノ]
		演目	上原ひろみ：Step Forward、ほか
	料金	S席 7,000円、A席 6,000円 区民S席 3,500円、区の小中高生 1,000円	

2	<p>【名称】トリフォニーホール・グレイト・ブラス&ウィンズ・シリーズ ベルリン・フィルハーモニー・ホルン・カルテット meets 新日本フィル 【時期】2021年6月29日(火) 【対象】吹奏楽ファン、オケ・ファン、NJP 会員等 【企画趣旨】ホールブランドを高める公演。ベルリン・フィルのホルン・セクションと新日本フィルとの共演で、世界最高水準の音楽に触れる機会を提供する。前半はホルン・カルテットのみ、後半はオーケストラ共演という2部構成。</p>	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	川瀬賢太郎
3	<p>【名称】下野竜也 音楽の魅力発見プロジェクト 【時期】2021年8月14日(土) 【対象】区民等の初心者・初級者 【企画趣旨】区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらうシリーズ企画の第8回。区民等に低料金のオーケストラ鑑賞機会を提供。毎回好評なレクチャー付きコンサートとして実施する。</p>	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	下野竜也
4	<p>【名称】新日本フィル・ニューイヤー・コンサート in すみだ曳舟 【時期】2022年1月15日(土) 【対象】区民 【企画趣旨】区民に新日本フィルを身近に感じてもらう企画。錦糸町を遠く感じるような区北部の聴衆層拡大を目的に、落語とニューイヤースタイルの音楽を一緒に楽しめる内容とする。曳舟文化センターのリニューアル・オープン最初の公演としての話題性も狙う。</p>	会場	曳舟文化センター
		指揮者	横山奏
5	<p>【名称】すみだ平和祈念音楽祭 2022 下野竜也&新日本フィル 【時期】2022年3月12日(土) 【対象】区民、オケ・ファン、NJP 会員等 【企画趣旨】ホールブランドを高め、区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。関東大震災及び東京大空襲で甚大な被害を被った墨田区ならではの、開館以来回数を重ねてきた平和への祈りを音楽で発信するコンサート。</p>	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	下野竜也

■墨田区による音楽事業推進補助事業公演（6事業6公演） ※令和3年度新規

NO	名称/時期/対象/企画趣旨	内容	
1	<p>【名称】坂東玉三郎 お話と素踊り 【時期】2021年5月8日(土) 【対象】区民、伝統芸能ファン 【企画趣旨】区民にホールを身近に感じてもらう企画。人間国宝であり世界的に活躍し誰もが知る歌舞伎俳優の、トーク及び衣装や化粧を着けない貴重な素踊りを、墨田区で初めて披露する。</p>	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	坂東玉三郎(歌舞伎俳優)、富山清琴(歌・三絃)、ほか
2	<p>【名称】赤ちゃんも、障がいのある方も、未就学児も…みんなみんな、「ようこそ！誰でもコンサート」新日本フィル・スペシャル！ 【時期】2021年6月3日(木) 【対象】区民等の障がい者、未就学児等 【企画趣旨】区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。普段コンサートホールで音楽を聴く機会の少ない層を中心に、誰もが音楽を楽しめる公演として実施する。</p>	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	永峯大輔
		出演者	岩崎瑞穂(司会)
		演目	未定
		料金	一般2,000円、区民1,000円 未就学児、障がい者とその介助者は無料

3	【名称】 墨田区立中学校吹奏楽祭の実施と新日本フィルによる吹奏楽部音楽指導 【時期】 音楽指導：2021年6～8月で各校2回 音楽祭：2021年8月21日（土） 【対象】 区民 【企画趣旨】 長年にわたる新日本フィルによる音楽指導事業を授業から部活動へ発展させ、また曳舟文化センターの改修を機として、墨田区立の全中学校の吹奏楽部が出演する吹奏楽祭をトリフォニーホールで実施する。事前に新日本フィル楽団員による各校への指導も行う。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	墨田区立中学校全10校の吹奏楽部指導にあたった新日本フィル楽団員
		演 目	未定
		料 金	無料
4	【名称】 新日本フィル・コミュニティ・コンサート 【時期】 2021年10月17日（日）ほか 【対象】 区民 【企画趣旨】 墨田区と新日本フィルとのフランチャイズ提携直後にスタートした、アウトリーチ活動の核となる事業。今年度からは福祉施設等にも会場を広げ、新たな取組みを開始する。学校や福祉施設等が地域住民を中心に集客し、地域コミュニティのひとつの中心として機能する機会とする。	会 場	墨田区立緑小学校 ほか調整中
		出演者	指揮者調整中、新日本フィルハーモニー交響楽団
		演 目	未定
		料 金	無料
5	【名称】 新日本フィル お腹に赤ちゃんのいるお母さんのためのリラックス・コンサート 【時期】 2021年11月3日（水・祝） 【対象】 区民を中心とした妊娠中の夫婦、子育て家庭とその子供等 【企画趣旨】 区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。リラックスできる音楽と、音楽家による妊娠子育ての経験談や専門家によるトークなどで、妊娠中の不安や孤立を少しでも和らげることに貢献する。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	和田一樹
		出演者	中須美喜（ソプラノ）、田添菜穂子（司会）、助産師などの専門家
		演 目	胎教によいとされる作品等
6	【名称】 布施明 meets 新日本フィル 【時期】 2021年12月9日（木） 【対象】 区民 【企画趣旨】 区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。知名度の高い歌手や芸能人等と新日本フィルとの共演により、区民がより親しみやすい公演を実施する新しいシリーズで、第1段として日本の歌謡曲歌手でも随一の歌唱力を誇る布施明氏を招く。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	布施明（歌手）、新日本フィルハーモニー交響楽団、藤野浩一（指揮者）
		演 目	未定
		料 金	未定

■大ホール等における自主企画公演（8事業23公演）

NO	名称／時期／対象／企画趣旨	内 容	
1	【名称】 ウィーン少年合唱団 【時期】 2021年6月12日（土） 【対象】 区民、合唱ファン 【企画趣旨】 区民にホールを身近に感じてもらう企画。クラシックを知らない層にも知名度の高い、世界で最も有名な少年合唱団による、名曲を中心とした合唱公演。これまでホールに来たことのない層の来館を期待する。	出演者	マニュエル・フーバー（合唱指揮）、ウィーン少年合唱団
		演 目	世界や日本の名曲
		料 金	S席5,000円、A席3,500円、5歳～中学生1,000円 区民S席3,500円、区の小中高生1,000円
2	【名称】 トリフォニーホール・グレイト・プラス&ウィンズ・シリーズ 佐渡裕&シエナ・ウインド・オーケストラ 【時期】 2021年9月29日（水） 【対象】 吹奏楽ファン 【企画趣旨】 国内トップの吹奏楽団の一つ。特に佐渡裕氏が指揮する同楽団の公演は、吹奏楽ファンに大変人気が高い。	出演者	佐渡裕（指揮）、シエナ・ウインド・オーケストラ（吹奏楽）
		演 目	リード／アルメニアン・ダンス ほか
		料 金	S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円 区民S席3,500円、区の小中高生1,000円

3	【名称】トリフォニーホール《ゴルトベルク変奏曲》 2021 ヴィキングル・オラフソン	出演者	ヴィキングル・オラフソン (ピアノ)
	【時期】2021年10月20日(水)	演目	未定
	【対象】ピアノ・ファン 【企画趣旨】ホールブランドを高める公演。ヨーロッパで最も権威ある賞を受賞するなど評価の高い若手ピアニストの演奏を取り上げる。	料金	S席 5,000円、A席 4,000円 区民S席 3,500円、区の小中高生 1,000円
4	【名称】トリフォニーホール・グレート・ブラス&ウィンズ・シリーズ ブラック・ダイク・バンド	出演者	ニコラス・チャイルズ(指揮)、ブラック・ダイク・バンド(吹奏楽)
	【時期】2021年10月30日(土)	演目	吹奏楽の名曲、映画音楽等
	【対象】吹奏楽ファン 【企画趣旨】ホールブランドを高める公演。世界で最も優れたブラス・バンドとして絶大な評価と人気を誇る。吹奏楽の盛んな墨田区だけでなく、日本中からファンが来館することを期待する。東京公演は毎回完売している。	料金	全席指定 5,500円、学生(社会人学生を除く25歳までの学生)2,700円 区民 3,500円、区の小中高生 1,000円
5	【名称】トリフォニーホール パイプオルガン・クリスマス・オルガンコンサート2021 第1回0歳児からのオルガン・コンサート 第2回しっかりじっくりオルガン・コンサート	出演者	オルガニスト調整中、ほか
	【時期】2021年12月19日(日)	演目	未定
	【対象】区民、オルガン・ファン 【企画趣旨】気軽に誰もが楽しめるパイプオルガンのコンサート。クリスマスにちなんだ曲やJ.S.バッハなど有名なオルガン作品を演奏。未就学児と一般の回を設け、新たな客層の開拓に繋げる。	料金	第1回：全席指定 1,000円、未就学児無料 第2回：全席指定 1,000円
6	【名称】すみだ平和祈念音楽祭2022 《ふたつのイエームリッヒ》オルガンがつなぐ音楽の架け橋	出演者	オルガニスト調整中、ほか
	【時期】2022年3月調整中	演目	未定
	【対象】区民、オルガン・ファン 【企画趣旨】ベルリン・コンツェルトハウスとのホール提携を改めて活用。同ホールでのオルガン演奏を収録し、その映像と区民の合唱との共演などで国際交流を図る。	料金	全席指定 1,500円 区民 1,000円
7	【名称】オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー 2021-2022	出演者	オルガニスト調整中
	【時期】2021年度中に8公演程度	演目	未定
	【対象】区民、オルガン・ファン 【企画趣旨】未就学児、車いす利用者、聴覚障がい者、視覚障がい者、区民、一般などを対象に、演奏と舞台裏見学とでオルガンやホールの魅力をより知ってもらおう。	料金	一般 500円、各対象回の未就学児・障がいのある方とその介助者は無料
8	【名称】パイプオルガンを弾いてみよう!!(墨田区民向けオルガン体験会)	出演者	オルガニスト調整中
	【時期】2021年中に合計9公演程度	演目	未定
	【対象】区民 【企画趣旨】区民の財産であるパイプオルガンに、区民が身近に触れる機会を提供し、ホールやオルガンのファンになってもらう。1日体験コースを6公演、大人向け短期集中レッスンコース2公演、子供向け夏休み短期集中コース1公演の開催を予定。	料金	1日体験コース 2,000円 短期集中レッスンコース 10,000円 夏休み短期集中コース 8,000円

■新日本フィルとの共同主催・共催による公演

実施時期		公演名	会場
共同主催	4月 3日(土)	ファミリーコンサート(指揮:宮川彬良)	すみだトリフォニーホール 大ホール
	7月 22日(木・祝)	サマーコンサート(指揮:未定)	
	12月 31日(金)	ジルベスターコンサート(指揮:未定)	
	1月 3日(月)	ニューイヤーコンサート(指揮:未定)	

共催	4月～7月	名曲を中心とした定期演奏会(2回4公演) 「ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ>	すみだトリフォニーホール 大ホール
		定期演奏会(3回6公演) 「トパーズ<トリフォニー・シリーズ>	
	9月～3月 「プレ 50 周年期間」	名曲を中心とした定期演奏会(5回 10 公演) 「すみだクラシックへの扉」	
		定期演奏会(4回4公演) 「トリフォニーホール・シリーズ」	
12月 18日(土)	「第九」特別演奏会		

■共同主催公演

実施時期	公演名	会場
8月 15日(日)	第 11 回すみだストリートジャズ・フェスティバル	すみだトリフォニーホール 大・小ホール

■その他共催公演 (10 公演程度)

実施時期	公演名	会場
5月 20日(木)	エリーナ・ガランチャ リサイタル 2021 東京初日公演	すみだトリフォニーホール 大ホール
5月 24日(月)	エリーナ・ガランチャ リサイタル 2021 東京最終公演	
9月 23日(木・祝)	NHK スペシャル 映像の世紀コンサート	
11月 6日(土)	山中千尋コンサート	
11月 22日(月)	ポール・モーリア メモリアルコンサート	
12月 4日(土)	ケルティック・クリスマス 2021	
12月 10日(金)	ディズニー・オン・クラシック	
12月 23日(木)	クリスマス☆ゴスペル 2021	
3月 6日(日)	群馬交響楽団 東京公演	
3月 19日(土)	ヘルシンキ大学男声合唱団	

※この他、追加の予定あり。

2 区民の音楽活動の育成

(1) アウトリーチ事業

新日本フィルによる区立小・中学校での音楽指導事業やコミュニティコンサートのほか、区内福祉施設等におけるふれあいコンサートなどのアウトリーチ活動を以下のとおり実施する。

■区立小・中学校での音楽指導（小学校 25 校、中学校 11 校）

内 容	会 場
新日本フィル楽団員による音楽指導授業	区立小・中学校全校

■新コミュニティコンサート（2 回程度） ※ 音楽事業推進補助事業

内 容	会 場
新日本フィルによるオーケストラ・コンサート 10 月 17 日(日)ほか	区立小・中学校ほか

■ふれあいコンサート（18 か所程度）

内 容	会 場
新日本フィル楽団員による室内楽	区内福祉施設等

■新日本フィル楽団員による墨田区中学校吹奏部への音楽指導（20 回）

※ 音楽事業推進補助事業

内 容	会 場
墨田区立中学校全 10 校の吹奏楽部に、新日本フィル楽団員が演奏指導を行う。 期間:6月～7月の間に、各校2回	墨田区立中学全 10 校

(2) トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの運営

次代を担う音楽家や芸術愛好家を育成するために、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラを組織し、音楽監督に松尾葉子氏(指揮者)、トレーナーに新日本フィルのメンバーを迎え、定期的な練習と区内外での演奏会を3回程度実施する。

■トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ（演奏会 2 回程度）

実施時期	内 容
通 年	週1回程度の練習の実施
通 年	アンサンブル
10 月	区障がい者(児)スポーツレクリエーション大会(吹奏楽)
10 月	学校コンサート
11 月 21 日(日)	創立 15 周年・第 30 回演奏会
3 月 27 日(日)	創立 15 周年・第 31 回演奏会

3 区民の音楽活動への参加の促進

(1) 墨田区立中学校吹奏楽祭の実施 ※音楽事業推進補助事業

区立中学校の文化芸術活動のさらなる発展と新日本フィルによる音楽指導事業の長年にわたる実績活用を図るため、墨田区の中中学校が参加する吹奏楽公演を、曳舟文化センターからトリフォニーホールでの開催に移行し、新たに新日本フィル楽団員による事前指導や当日の共演を企画して実施する。

■すみだ中学校吹奏楽祭(1日間)

内容	会場
墨田区立中学校の全 10 校の吹奏楽部が、日頃の活動の成果を発表する。 8月 21 日(土)	すみだトリフォニーホール 大ホール

(2) 区民音楽祭の実施

区内音楽団体等に発表の場を提供し、その活動を支援するため、以下の事業を実施する。

■すみだ音楽祭 (3日間)

内容	会場
区内アマチュア音楽団体にトリフォニーホールでの演奏機会を提供する。 8月 22 日(日)・28 日(土)・29 日(日)	すみだトリフォニーホール 大・小ホール

(3) パイプオルガン体験機会の提供

区民の財産であるパイプオルガンに区民が身近に触れる機会を提供し、ホールやパイプオルガンを身近に感じてもらう。

内容	会場
区民向け「パイプオルガンを弾いてみよう！！」 ・オルガン体験会1日体験コース6公演 ・大人向け短期集中レッスンコース2公演 ・子供向け夏休み短期集中コース1公演	すみだトリフォニーホール 大ホール
オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー 2021-2022 区民、未就学児、車いす利用者、聴覚障がい者、視覚障がい者などを対象に、演奏鑑賞と舞台裏の見学を実施。オルガンやホールの魅力をより知ってもらう。	
すみだ平和祈念音楽祭 2022《ふたつのイエームリッヒ》 ～オルガンがつなぐ音楽の架け橋～ ベルリン・コンツェルトハウスのオルガン演奏を収録し、その映像と区民の合唱との共演などで国際交流を図る。	

4 区民モニター制度の導入 ※令和3年度新規

すみだトリフォニーホール の事業について、区民の意見・要望を把握して事業へ反映し、また事業の評価の指標とするため、新たに区民モニターを募集し年3回程度インターネットを利用した調査を行う。

5 多彩なコミュニケーションツールの活用や地域社会との連携などによる戦略的広報活動

(1) 情報発信

公演情報へのアクセス数を高めるため、公式ホームページ、Facebook、Twitter、チラシ、ポスターなど、それぞれのメディア特性を活かした効果的な情報発信により、無料会員トリフォニーホール・チケットメンバーズの新規加入の促進を図り、新規来場者やリピーターの獲得を目指す。

また、ホールに直接来館できない方への鑑賞機会の提供、及び感染防止対策の一環として動画配信を積極的に導入していく。具体的には「ヴァーチャル・バックステージ・ツアー」と題し「ホールに住むフランチャイズ・オーケストラ」の活動の様子や、国内最大級とも称されるパイプオルガンの演奏方法や構造など、普段は見られない秘密に迫る紹介動画を発信する。

(2) 戦略的広報

あらゆる区民にホールを知ってもらい足を運んでもらうため、長年にわたりホールを利用して下さる方々との連携や、地元錦糸町を始めとした商店街や地域コミュニティ、産業界とも連携し、区内に広範なネットワークを形成する。あわせて、出演アーティストやフランチャイズ・オーケストラを十分に活用し、ホールのブランディング力を高める。

6 施設の利用及び維持管理等に関する業務

(1) 施設利用に関する業務

ア 各施設の利用申請、承認、利用料金の徴収については、すみだトリフォニーホール条例及び同条例施行規則に基づき適正に処理をする。また、利用の適格性や利用申請の重複による優先順位を審査する「施設利用調整委員会」を定期的開催し、公平かつ公正な施設利用に努める。

イ 施設等の利用者サービスの向上を図るため、ホールへの意見・要望の共有化やサービス改善への具体的検討を行う、ホールスタッフによるミーティングを定期的開催する。

ウ 利用者が安心して利用できる施設環境を維持するため、施設内外の巡回、設備機器等の点検により安心・安全の確保を図る。新型コロナウイルス感染拡大防止のため行政機関などによる指示、各種ガイドラインを遵守した感染症対策を講じ、利用者やホールスタッフの安全維持に努める。また、急病人・怪我人等の事故が発生した場合の迅速な処理に努めるほか、地震・火災等に備え、消防計画に基づき消防訓練を実施するとともに、錦糸町第3街区4棟共同防火管理協議会の地区隊にも所属していることから、他の隊と協力して消防訓練を実施する。

エ ホールの舞台運営については、経験豊富な専門スタッフが舞台機構、舞台照明、舞台音響の各種舞台設備を安全かつ効率的に管理運営するとともに、ホールの優れた音響などの特性を活かせるよう、施設利用者に適切なアドバイスやサービスを提供しサポートする。

オ 大ホールの公演時における来館者に対するサービスとして、洗練されたホールスタッフをホールの「顔」として配置し、客席案内等の業務を遂行するほか、コロナ禍においては、来館者の検温や手指消毒等を実施するなど、来館者が安全かつ安心して公演を鑑賞できるよう、サービスを提供する。

(2) 施設設備の維持管理

当ホールが多くの来館者が集う公共施設であることから、安全で快適なホール環境の維持に努めるとともに、コンサートホールに相応しい適正な維持管理を実施する。

また、各種設備については、日常的に点検を行い、劣化及び破損等の状況を常に把握するとともに、必要に応じて小規模修繕等を実施し、設備の機能維持及び安全の確保に努めていく。

Ⅱ すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

北斎を核とした墨田区の文化芸術振興施策の重要拠点として、区と連携しながら当美術館の魅力を広く発信し、近隣の博物館等とのネットワークによる事業を展開する。あわせて、北斎を顕彰する専門美術館として関連学会等との連携をとりつつ認知度向上を図り、利用者満足度が高い展覧会・イベントを企画し実施するとともに、教育普及活動も推進していく。

今回の新型コロナウイルス感染症拡大によるこの一年の影響を顧みることにより、将来の社会情勢の変化に対応すべく、館運営への影響を最小限に抑える施策を推進するとともに、北斎を契機とする国際交流の一助となるよう日本文化の紹介に努めていくほか、国内外の美術館との交流も推進していく。

令和3年度が次期指定管理の初年度にあたることから、開館からこれまでの実績を踏まえ、より安定したホスピタリティあふれる館運営を実現し、当美術館での各種事業を通じて文化芸術振興と地域の活性化に寄与することを目指していく。

- (1) 葛飾北斎の専門美術館として高いクオリティをもった事業を展開する。北斎とその門人やゆかりのある人物の資料等を活用した魅力ある展覧会を実施し、北斎の偉大な業績を顕彰、情報を発信する。また「常設展プラス」により、来館者及び収入増の実現を目指す。
- (2) 展示や普及活動を通じて地域の活性化を図り、地域の各種団体や文化施設と連携するとともに、教育、観光、産業などとも連携協力する。
- (3) 世界的に評価されている北斎の生誕地に開設された美術館としての注目度をさらに高めるために国内外に向けた情報発信と交流を促進し、これまでに友好協力協定を締結した美術館との連携をはじめ各事業における国際交流の取組み・連携を一層推進する。
- (4) 安全で快適な運営を行うための維持管理を徹底し、必要な予防措置や修繕対応を重ね、適切な施設維持管理に努めていく。
- (5) 国内利用者だけでなくインバウンドも含めコミュニケーションを大切にし、常に利用者の目線に立ち、学び、楽しめる居心地の良い施設環境の維持とサービスの提供に努めていく。

1 資料収集・保管事業

区の収集方針に従い、学芸員が専門性を活かしながら積極的に資料を探し出し、候補資料の調査から収集まで全面的に協力し作品収集に貢献する。また、浮世絵及び関連資料を次代へと受け継げるよう適切に収蔵品を管理・保管する。

2 調査研究事業

北斎を中心にその門人の作品や関連及び交流のあった人物、すみだをはじめとする北斎ゆかりの地との関わりなど、多角的な視点から調査研究し、その成果をデータベースに反映させ情報の蓄積を図り、展示や刊行物を通じて一般から専門家まで広く情報を発信していく。

【調査・研究の対象と視点】

- ・ 北斎のすみだをはじめとするゆかりの地との関わりについて
- ・ 北斎とその門人の肉筆画・版画・版本等の作品の調査・研究
- ・ 北斎と同時代の文化との関連の研究
- ・ 浮世絵の歴史と北斎に関わる研究

3 展示事業

当館の収蔵品を活かした話題性と魅力に富む展覧会を立案するとともに、講座やイベントなどの関連企画や教育普及活動との連動により、集客を意識した展示事業を実施していく。

(1) 常設展示

北斎の生涯について実物大の高精細レプリカ作品と情報端末でわかりやすく紹介し、北斎の基本を学ぶ展示、新鮮な出会いのある展示、多様なニーズに対応した展示を目指していく。

(2) 常設展プラス

4階企画展示室を企画展示で使用しない期間にミニ企画展を実施し、来館者に対してオリジナル作品の鑑賞機会を広げ来館促進につなげる。

(3) 企画展示

企画展示では、北斎とその門人の作品展示を基本としながら、北斎の偉業を幅広くとらえ、多角的な展示を行い、観覧者目線に立った展示方法に取り組む。

令和3年度は実質年間4回の企画展に留め、より魅力的な質の高い企画展を開催する。作品保護を考慮しつつ、各企画展の開催期間の長期化を図り、観覧料収入の確保に努める。新型コロナウイルス感染拡大により延期となった名品展「THE 北斎 富嶽三十六景と幻の絵巻」を開催するなど、北斎及び浮世絵の魅力を国内外に発信することによって地域の活性化に繋げていく。

■企画展示の年間計画

展覧会名	筆魂 線の引力・色の魔力 又兵衛から北斎・国芳まで
開催期間	4月1日(木)～4月4日(日)【4日間】 ※前年度より継続
観覧者数	2,170人見込
展覧会名	しりあがりサン・北斎サン クスッと笑える SHOW TIME
開催期間	4月20日(火)～6月27日(日)【60日間】
展示概要	しりあがり寿氏が尊敬してやまない北斎の「富嶽三十六景」や「諸国瀧廻り」などを新作パロディにして展示。北斎が描いた作品とともに展示することで、北斎作品の魅力をわかりやすく伝える。北斎にインスパイアされた、しりあがり寿氏の映像作品等の現代アートも展示する。
展示点数	約100点
主な展示資料	葛飾北斎作品 しりあがり寿作品等
観覧料	一般 1,000円
観覧者数	31,130人見込

展覧会名	北齋生誕260年記念 THE北齋 富嶽三十六景と幻の絵巻
開催期間	7月13日(火)～9月20日(月・祝)【60日間】
展示概要	北齋生誕260年を記念するとともに、延期となった東京オリンピック・パラリンピックの開催時期にあわせて、すみだ北齋美術館の二大名品「富嶽三十六景」シリーズと開館記念展で約100年ぶりの再発見として話題となった幻の絵巻「隅田川両岸景色図巻」を中心に、人気の高い北齋作品約100点を一堂に展示する。北齋の名作の数々を通して、日本の四季の美しさ、江戸時代より観光スポットとして知られる隅田川周辺の名所を紹介しながら、北齋のたぐい稀な筆力と発想力、隅田川をめぐる江戸情緒をご堪能いただく。
展示点数	約100点
主な展示資料	葛飾北齋「隅田川両岸景色図巻」、「富嶽三十六景 凱風快晴」、「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」、「富嶽三十六景 山下白雨」
観覧料	一般 1,200円
観覧者数	31,300人見込
展覧会名	江戸の華 ～ピーター・モース展～ 同時開催 檜崎宗重コレクション(仮称)
開催期間	10月5日(火)～12月5日(日)【54日間】
展示概要	すみだ北齋美術館の収蔵品の核であるピーター・モース・コレクションと檜崎宗重コレクションの中から厳選して展示する。これらのコレクションの取得の条件として、定期的に公開することになっており、北齋作品をメインとしたモースコレクションを主に展示し、北齋以外の作品が多くを占める檜崎コレクションは同時開催として、スペースを区分して展示する。
展示点数	未定
主な展示資料	未定
観覧料	一般 1,000円
観覧者数	27,870人見込
展覧会名	教えて北齋先生 日本の歴史展(仮称)
開催期間	12月21日(火)～2月27日(日)【60日間】
展示概要	北齋や門人が描いた日本の歴史に関する作品を展示する。歴史というテーマで作品を掘り下げることで、北齋や門人の画題に対する教養の深さの一端を紹介するとともに、江戸時代の人々の歴史観も紹介していく。
展示点数	約100点
主な展示資料	葛飾北齋「浮絵一ノ谷合戦坂落之図」(版画)、「畠山重忠」(版画)、「羅生門」、「絵本和漢誉」
観覧料	一般 1,000円
観覧者数	29,200人見込
展覧会名	検討中
開催期間	3月15日(火)～3月31日(木)【15日間】
観覧料	一般 1,000円(予定)
観覧者数	7,540人見込

4 教育普及事業

北齋や浮世絵などへの理解促進を図ることを基本としながら、美術館活動への理解と地域や郷土を愛し誇りとする心を育むことを主眼に、多岐にわたる教育普及活動を行う。館内での活動だけでなく、教育機関との連携や、さまざまな地域活性化プログラムとも連動しながら、館外での取組みにも注力していく。

(1) 館に親しみを持つ層の拡大

各方面の幅広い層を対象に北斎をよりよく知ってもらうための各種講座、イベント、ワークショップを館内外で実施する。区内にとどまらず区外への出講も積極的に取り入れ、当館の魅力をPRするとともに、来館を促す活動を進めていく。また、国内外からの来館者が北斎への理解を深められ、障がいのある方々も北斎と美術館に親しみをもてるよう、取組みを行う。

観光客も気軽に参加できるような、魅力のあるイベント、ワークショップを実施する。

(2) 児童・生徒及び教育機関に対する取組み

区内及び区外の学校に出向いて、北斎の基礎的な情報を知ってもらう講座や、北斎を学び体験する授業等、校種、学年に応じた多彩なプログラムを実施する。学校の団体利用については教育委員会や教育研究会と連携し、北斎や展示内容に関する講義や解説を行う。

(3) 地域との結びつきを深める取組み

墨田区の文化振興事業と連携して、美術館を地域の文化活動の拠点として活用する取組みを推進していく。地元団体等と協力することで、地域の活性化につながる活動を実施していく。

5 図書室運営事業

北斎に関する専門図書室として所蔵資料の情報を適切に整理し、子どもから研究者まで多様な利用者の興味や関心に応えられるよう、開架と閉架を併用したサービスを行う。開架では手に取りやすい一般書籍を中心として閲覧に供し、貴重書は閉架書庫にて保管する。

あわせて、展覧会に応じた特設コーナーや子ども向けコーナーを設けるなど、誰もが入室しやすい環境を整えて「開かれた図書室」を目指し、夏休み等の研究課題相談コーナー等を開設する。

【業務内容】

- ・ 図書資料の収集、整理、保存、閲覧サービス、レファレンスサービス、複写サービス等
- ・ 専用情報システムによる収蔵図書資料に関する情報提供

6 施設の利用及び維持管理に関する業務

各種イベントやレセプション等の開催場所として講座室等の施設を活用する。公平・平等な運営により、施設の利用促進及び利用者サービスの向上を図るとともに、美術館が連携する企画や区民の文化活動を支援するために講座室を貸し出す。

貴重な北斎作品等の資料を保管・展示する美術館として、施設管理、清掃、警備等の業務を優れた実績と経験を有する第三者に委託し、適切に施設管理業務を実施する。あわせて、集客施設として、来館者により密接なサービスを提供する受付・案内業務を繁閑等の状況に応じて、必要なポスト数をフレキシブルに調整し効率的に行う。

Ⅲ 墨田区域における文化芸術活動の支援事業

墨田区の様々な文化芸術活動や拠点に関する情報を収集・発信し、本区に活動拠点を置く文化団体やアーティスト等の活動を支援することを目的に、助成事業やサイト運営等を行う。また、すみだ北斎美術館の開館を契機として始まったアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)の実行委員会事務局を担い、事業の円滑な推進を図る。

助成事業や「すみゆめ」等を通じて、本区を中心に起きている多彩な文化芸術活動の動向を把握し、文化団体やアーティスト等からの相談に応じ、場の提供や人材の紹介などを行っていく。多くの文化芸術活動の担い手が集い、ネットワークが形成され、幅広い分野で新たな活動が創造されるよう、その基盤整備に努めていく。

1 すみだ文化芸術活動助成事業

区民の文化芸術活動の活性化と促進を図るため、区内を活動拠点とする文化団体を対象とした育成事業で、平成 30 年度に区から財団に事業移管された。新年度、早期の事業実施に対応するため、助成の募集及び選考は令和2年度中に行った。

なお新型コロナウイルスの影響を鑑み、企画実施に際しての感染防止対策を求めるとともに、オンラインを活用した公開手法についても申請内容に含めることとした。公募段階での申請者からの相談や選考前のヒアリング、さらには助成活動の現地視察を行うことで、助成団体や活動の実態と課題を把握し、本事業の成果を検証するとともに、制度の改善に反映させていく。

■実施概要

- ・ 補助対象:5人以上で構成される団体で、区民が主体となって活動していること。区内に主たる事務所又は活動拠点を有し、原則として、区内で1年以上の活動実績があること。
- ・ 補助金額:対象経費の合計額の2分の1以内で、100 万円を上限とする。
- ・ 令和3年度助成予定:補助金総額 300 万円、交付対象7件(申請件数 15 件)

2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営

墨田区の文化芸術情報の収集・発信を行うため、平成 26 年度に開設した本サイトは、区内の官民の文化施設及び文化拠点、区内に活動拠点を置くアーティスト・文化団体情報が登録方式で集約されており、登録者が区内で行うイベント情報を掲載できる。

平成 30 年度より財団に事業移管されて本サイトを運用しているが、登録者数(現在 155 件)及びイベント情報の掲載件数は微増傾向にとどまっており、発信力に乏しいという課題がある(本年度総ページビュー:42,317PV)。このため、より魅力的で活用されるサイトとなるよう、掲載情報の内容を検討していく。

3 文化政策及び文化事業に関する調査

平成 30 年度に墨田区からの委託により実施した「墨田区における文化芸術振興のあり方検討調査」に基づき、財団の中間支援機能を高めるために、国や他自治体の文化政策の動向等について

継続的に情報収集を行う。あわせて、財団が行う事業の改善に向け、必要に応じて、財団アドバイザーボードや文化政策の研究者等の意見を参考に検討する。

4 アートプロジェクト等の推進事業

すみだ北斎美術館の開館を機にスタートしたアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」を実行委員会により実施し、その事務局運営を財団が担う。実行委員会では、「北斎」・「隅田川」を主なテーマに区内及び隅田川流域で行われる多彩な表現活動を募集し、補助金を交付するとともに、参加団体相互の交流を促す企画を推進する。あわせて、「すみゆめ」を象徴するような企画を主催事業として実施する予定である。

これまでの5年間の実績を踏まえ、区民等による主体的な活動を支援し、すみだの地域資源と魅力を顕在化させることで、さまざまな場とNPOやアーティストなど文化芸術の担い手をつなぎ、人的ネットワークの形成を目指す。

■「隅田川 森羅万象 墨に夢」の実施概要（実行委員会案）

- ・ 採択企画1件あたり補助金上限 100 万円、区の施設の無料・減免での利用可、技術サポート（照明・音響、展示施工など）の相談にも応じる。
- ・ チラシ、WEB、SNS を活用した広報と、ライターによる活動レポートを配信する。
- ・ 採択企画のほか、趣旨に賛同する「ネットワーク企画」を募り、広報連携等を行う。
- ・ すみゆめ参加団体が集う「寄合」を月1回程度、各団体の活動拠点などで実施し、情報共有と意見交換を行う。
- ・ 選考委員による活動視察や公開の報告会で成果を共有し、次年度へ継承していく。

■スケジュール（実行委員会案）

実施時期	内容
2021年3月8日(月)～4月16日(金)	「すみゆめ2021」企画募集
5月下旬	選考会にて採択企画を決定
6月下旬	採択企画の発表、参加団体へのオリエンテーション
9月1日(水)～12月26日(日)	「すみゆめ2021」メイン期間
2022年2月下旬	報告会

5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

助成事業や「すみゆめ」等に関わる文化団体やアートNPO等に限らず、区内及び墨田区を中心に行われる文化芸術活動の動向を把握し、必要に応じて協力・参加することで幅広いネットワーク形成と情報の蓄積に努める。東京藝術大学が足立区・台東区・墨田区と連携して始めた文化政策に関する勉強会「アラスミ！」への参加や、東京都が当地域で開催する Tokyo Tokyo FESTIVAL 等と情報発信で連携を図るなど、地域における文化芸術活動に積極的に関わっていく。